本書はソシエテ・ジェネラルが作成した英文資料の日本語全訳です。正確な内容については英語の原文が優先します。

2025 年第 2 四半期決算および上半期決算

プレスリリース

パリ、2025 年 7 月 31 日、午前 6 時 25 分

2025 年上半期のグループ当期純利益は 31 億ユーロと、2024 年上半期比 71%増

2025 年の目標を上方修正

10 億ユーロの最初の追加的な自社株買いを開始

新たな中間現金配当は 1 株当たり 0.61 ユーロ [1]

- **2025 年上半期の当グループの収益は 139 億ユーロ**と、資産売却の影響を除くと 2024 年上半期比で**8.6%の増加**となり、2025 年の年間目標である 3%超を上回った。
- **2025 年上半期の営業費用は**、資産売却の影響を除くと **2024 年上半期比で 2.6%の減少**となり、1%超の削減という当グループの 2025 年の年間目標を上回った。
- **2025 年上半期の経費率は 64.4%**と、2025 年の当初の年間目標である 66%未満を達成した。
- **資産内容は堅調で、2025 年上半期のリスク費用は 24 ベーシスポイント**と、2025 年の年間目標である 25〜30 ベーシスポイントを下回る**低水準であった。**
- **2025 年上半期のグループ当期純利益は 31 億ユーロと、2024 年上半期比で 71%増加した。有形自己資本利益率（ROTE）は 10.3%**と、2025 年の当初の年間目標である 8%超を上回った。
- **2025 年上半期と同様、2025 年第 2 四半期の経費率は 63.8%**（2024 年第 2 四半期は 68.4%）、**グループ当期純利益は 15 億ユーロ**（2024 年第 2 四半期比 31%増）、**ROTE は 9.7%と好調な業績を達成した。**
- 当初の目標を上回る収益およびコスト削減を受け、**2025 年の財務目標を上方修正した。**
  - 2025 年通期の**経費率を 65%未満に修正**
  - **2025 年通期の ROTE 目標を最高で 9%まで引上げ**
- **10 億ユーロ**（普通株式等 Tier1 比率の 25 ベーシスポイント分まで）**の追加的な自社株買いを通じて、最初の超過資本の還元**を 2025 年 8 月 4 日にも開始する予定である。
- **10 億ユーロの追加的な自社株買い実施後の 2025 年第 2 四半期末時点の普通株式等 Tier1 比率は 13.5%**となり、規制要件を約 330 ベーシスポイント上回った。
- **取締役会は、還元方針の修正を承認し、2025 年から毎年第 4 四半期に支払われる中間現金配当を導入した。2025 年上半期については、1 株当たり 0.61 ユーロ [1]の中間配当が、2025 年 10 月 9 日に支払われる。**

[1] 2025 年上半期のグループ当期純利益（非現金項目（GESOP を含む。）の修正再表示後ならびに超劣後債および永久劣後債の利息の控除後）に対する配当性向 50%に基づく、2025 年上半期末時点で 1 株当たり 1.77 ユーロの予定配当総額の見積額のうち、2025 年上半期決算および中間現金配当を含む試算ベースの数値。還元方針は、現金配当および自社株買いの均衡のとれた配分に基づく。

当グループの最高経営責任者であるスラヴォミール・クルパは次のように述べています。

「当グループは当四半期においてもまた、全事業部門の堅調な営業実績および財務業績により、好調な業績を達成しました。収益成長、コスト削減、経費率および収益性の改善はすべて、当グループの 2025 年上半期の年間目標を上回り、当グループは 2025 年通期の目標を上方修正しました。当グループの目標を大きく上回る高い自己資本比率により、自社株買いという形で追加的な株主還元を行うとともに、2025 年上半期から中間配当を導入することを決定しました。顧客および当行に対する各チームのコミットメントに感謝しています。我々は、今後も 2026 年のロードマップの的確かつ着実な執行に専念し、当グループのすべてのステークホルダーのために持続的で収益性の高い成長を続けて参ります。」

1. グループ連結決算

（単位：百万ユーロ）	2025 年 第 2 四半期	2024 年 第 2 四半期	増減		2025 年 上半期	2024 年 上半期	増減	
業務粗利益	**6,791**	**6,685**	**+1.6%**	**+7.8%***	**13,874**	**13,330**	**+4.1%**	**+8.8%***
営業費用	(4,331)	(4,570)	-5.2%	-0.1%*	(8,935)	(9,550)	-6.4%	-2.6%*
営業総利益	**2,460**	**2,115**	**+16.4%**	**+25.3%***	**4,939**	**3,780**	**+30.7%**	**+37.8%***
純リスク費用	(355)	(387)	-8.2%	+0.7%*	(699)	(787)	-11.1%	-4.9%*
営業利益	**2,105**	**1,728**	**+21.8%**	**+30.6%***	**4,240**	**2,993**	**+41.7%**	**+48.8%***
その他の資産からの純損益	**75**	**(8)**	**n/s**	**n/s**	**277**	**(88)**	**n/s**	**n/s**
法人所得税	(477)	(379)	+25.8%	+37.7%*	(967)	(653)	+48.1%	+58.3%*
当期純利益	**1,702**	**1,348**	**+26.3%**	**+34.6%***	**3,557**	**2,265**	**+57.1%**	**+64.4%***
うち非支配持分損益	249	235	+5.8%	+11.5%*	496	472	+5.0%	+11.3%*
グループ当期純利益	**1,453**	**1,113**	**+30.6%**	**+39.6%***	**3,061**	**1,793**	**+70.8%**	**+78.1%***
ROE	8.6%	6.5%			9.1%	5.1%		
ROTE	**9.7%**	**7.4%**			**10.3%**	**5.8%**		
経費率	**63.8%**	**68.4%**			**64.4%**	**71.6%**		

本書中においてアスタリスク*は、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除いた数値を示す。

2025 年 7 月 30 日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの 2025 年第 2 四半期決算および 2025 年上半期決算が精査された。

業務粗利益

2025 年第 2 四半期の**業務粗利益は 68 億ユーロ**と、2024 年第 2 四半期比 1.6%増となり、資産売却の影響を除くと 7.1%増となった。

フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門の 2025 年第 2 四半期の収益は 23 億ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 6.5%増加した（資産売却の影響を除くと 10.7%増）。純受取利息は、2025 年第 2 四半期において 2024 年第 2 四半期比 14.8%増と力強い伸びを示し、資産売却および 2024 年第 2 四半期に計上した短期ヘッジの影響（約マイナス 1 億 5,000 万ユーロ）の修正再表示後でも 2.4%増であった。**プライベートバンキング事業**（スイスおよび英国事業における資産売却の影響を除く。）および**生命保険事業**の 2025 年第 2 四半期の運用資産の**残高**はそれぞれ 2024 年第 2 四半期比で 6%増加および 5%増加となった。最後に、**ブルソバンク**は引き続き力強い商業的発展を遂げており、2025 年第 2 四半期において 424,000 に近い新規顧客を獲得し、2025 年 7 月には顧客数が 800 万に達した。これは 2023 年 9 月のキャピタル・マーケッツ・デーにおいて当初公表していた 2026 年の予想レンジを上回るペースである。

グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門の収益は、2025 年第 2 四半期において 26 億ユーロと高水準を維持し、2024 年第 2 四半期比で 0.7%増加した。これは、債券・為替事業およびファイナンス・アドバイザリー事業が引き続き堅調であったことによるものである。**グローバルマーケッツ事業**の 2025 年第 2 四半期の収益は、すでに非常に高い水準にあった 2024 年第 2 四半期と比較して 0.8%増となった。エクイティ事業の 2025 年第 2 四半期の収益は、主にデリバティブの上向きの商業的モメンタムで嵩上げされた 2024 年第 2 四半期と比較して 2.9%減とわずかに減少したものの、非常に高い水準を維持した。債券・為替事業の収益は、フローおよび金融商品の好調な推移に牽引され、7.3%増加した。**証券サービス事業**の収益は、金利低下の影響により、3.1%減とわずかに減少した。**グローバルバンキング・アドバイザリー事業**は、買収ファイナンス業務、ファンドファイナンス業務およびプロジェクトファイナンス業務の好調な業績に加え、ローンの組成・売却業務の堅調なモメンタムによる恩恵を受けた。最後に、**グローバ**

ルトランザクション・ペイメントサービス事業の収益は、法人顧客および機関顧客向けの商業活動が活発であったものの、ここでも金利低下の影響を受け、2024 年第 2 四半期比で 4.7%の減少となった。

モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門の収益は、2024 年第 2 四半期比で 5.6%減少した。これは主に、2025 年第 2 四半期における約マイナス 2 億 6,000 万ユーロの連結範囲の変更の影響によるものである。資産売却の影響を除くと、収益は 7.3%増となった。**国際リテールバンキング事業**の収益は、2024 年第 2 四半期比で 12.1%減少し、9 億ユーロとなった。これは、アフリカ（主にモロッコおよびマダガスカル）における資産売却の完了に関連した連結範囲の変更の影響によるものである。連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除くと、収益は 2.7%増であった。**モビリティ・金融サービス事業**の収益は、2024 年第 2 四半期比で 0.4%増加し、SGEF の資産売却の影響を除くと 11.7%増であった。Ayvens の収益は、マージンの顕著な改善により、2024 年第 2 四半期比で 10.6%増加した。消費者金融事業の収益は、主に純受取利息の増加により、12.6%増加した。

コーポレートセンターの 2025 年第 2 四半期の収益は、マイナス 1 億 6,000 万ユーロとなった。

2025 年上半期において、当グループの業務粗利益は 2024 年上半期比で 4.1%増加し、資産売却の影響を除くと 8.6%の増加となった。

営業費用

2025 年第 2 四半期の営業費用は 43 億 3100 万ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 5.2%減少し、資産売却の影響を除くと 0.6%の減少となった。

2025 年第 2 四半期の営業費用は、資産売却の影響を除くとわずかな減少となった。これは主に、2025 年 6 月に開始した従業員持株制度に関連する約 1 億ユーロ [1]の特別費用の計上によるものである。この非経常項目の修正再表示後の営業費用は、2024 年第 2 四半期比で 2.8%の減少となり、当グループ全体の厳格なコスト管理を裏付けた。2025 年第 2 四半期において、改革費用は 2024 年第 2 四半期比で 9,300 万ユーロ減少した。

2025 年第 2 四半期の経費率は 63.8%と、2024 年第 2 四半期（68.4%）から低下し、2025 年の当初の予想レンジである 66%未満となった。

2025 年上半期において、営業費用は 2024 年上半期比 2.6%減と大幅に減少した（資産売却の影響を除く。）。経費率は 64.4%（2024 年上半期は 71.6%）となり、こちらも 2025 年の当初の予想レンジである 66%未満となった。

2025 年上半期の収益および営業費用は同期における当初の目標を達成し、2025 年通期の経費率の目標は 65%未満に修正された。

リスク費用

2025 年第 2 四半期のリスク費用は 25 ベーシスポイント（3 億 5,500 万ユーロ）**と低水準を維持し**、依然として 25～30 ベーシスポイントに設定された 2025 年の目標の下限付近であった。これには回収懸念貸出金に対する引当金 3 億 9,000 万ユーロ（約 27 ベーシスポイント）および正常債権に対する引当金の戻入れ 3,500 万ユーロが含まれる。

[1] 普通株等 Tier1 比率に影響を及ぼさず、その結果として分配可能な純利益に影響を及ぼさない非現金項目

2025 年 6 月末時点の当グループの正常債権に対する引当金の残高は 30 億 1,100 万ユーロと、2025 年 3 月末時点と比較して 3.8％減少したが、これは主に資産売却および為替レートの変動による影響に起因する。

2025 年 6 月 30 日時点の総不良債権比率は 2.77％[1,2]と、2025 年 3 月末の水準（2.82％）と比較して低下した。2025 年 6 月 30 日時点の当グループの不良債権の純カバレッジ比率（保証および担保を考慮後のもの）は 81％[3]であった。

その他の資産からの純損益

当グループは、2025 年第 2 四半期において 7,500 万ユーロの純利益を計上した。これは主に、2025 年 6 月に完了したソシエテ・ジェネラル・ブルキナ・ファソの売却に伴う会計上の影響に関連するものであった。

グループ当期純利益

2025 年第 2 四半期のグループ当期純利益は 14 億 5,300 万ユーロ、有形自己資本利益率（ROTE）は 9.7％であった。

2025 年上半期のグループ当期純利益は 30 億 6,100 万ユーロ、有形自己資本利益率（ROTE）は 2025 年の目標である 8％超を上回る 10.3％であった。

2025 年上半期の業績を考慮し、当グループは 2025 年通期の ROTE 目標を約 9％に修正した。

株主還元

取締役会は、還元方針の修正を承認し、2025 年から毎年第 4 四半期に支払われる中間現金配当を導入した。2025 年上半期の財務諸表に基づき、取締役会は 1 株当たり 0.61 ユーロの中間配当を支払うことを決定した。配当落ち日は 2025 年 10 月 7 日、配当金の支払日は 2025 年 10 月 9 日を予定している。

加えて、2025 年 2 月 6 日に発表された当グループの新たな還元方針 [4]で想定される施策の最初の適用事例として、10 億ユーロの追加的な自社株買いを通じた超過資本の還元が行われる。このプログラムは 2025 年 8 月 4 日に開始される予定であり、欧州中央銀行（ECB）を含む当局の承認は取得済みである [5]。

---

[1] 2019 年 7 月 16 日に公表された欧州銀行監督機構（EBA）の手法に従い算出された比率

[2] IFRS 第 5 号に従って現在売却過程にある企業の貸出残高を除いた比率

[3] ステージ 3 引当金および保証・担保の不良債権残高の総額に対する比率

[4] 2025 年 2 月 6 日に公表された 2024 年第 4 四半期および 2024 年通期決算に係るプレゼンテーション資料の 6 ページを参照のこと。

[5] 2024 年 5 月 22 日の合同株主総会における第 22 号決議に関連する 2024 年 5 月 17 日の自社株買いプログラムの説明を参照のこと。当社が自社株買いを行う権限は、2025 年 11 月 22 日まで有効である。

2. ESG：将来への備え

当グループは、2025 年第 2 四半期に、科学的諮問委員会の設置を発表した。この委員会の役割は、将来の経済環境および当グループの活動に影響を与えうる主要な新規トレンドについて、科学的根拠に基づくアプローチを用いて、ESG に関する知見を経営執行部に提供することである。同委員会は補完的なスキルを有する 8 名の専門家メンバーで構成され、長期的な機会および課題の特定に向けて総合的な見解を提供する（詳細については、2025 年 6 月 18 日付のプレスリリース「ソシエテ・ジェネラル、科学的諮問委員会の設置を発表－ソシエテ・ジェネラル」を参照のこと。）。

同時に、ソシエテ・ジェネラルは、エネルギー移行に向けた取組みや、革新的な金融ソリューションを通じた顧客支援を引き続き展開している。

- 国連海洋会議（UNOC）において、ソシエテ・ジェネラルは、海洋生態系の保護に向けた取組みおよびより持続可能な海洋経済への移行における自らの重要な役割を再認識した。ソシエテ・ジェネラルは、「マリタイム・アップグレード」デットファンドに関して、ユーラゼオ（Eurazeo）の専任アドバイザーを務めた（2023 年 2 月 28 日付のプレスリリース「ユーラゼオとソシエテ・ジェネラルは、海洋セクターの持続可能な移行を支援するために協力する－ホールセールバンキング」を参照のこと。）。
- ソシエテ・ジェネラルは、子会社のリード（REED）を通じて、エネルギー効率の高いデータセンターに特化したプラットフォームであるボルテッコ・テック（Voltekko Tech）に出資している。リードの買収以降、エネルギーセクターを中心に計 9 件の投資が行われた。

最後に、ソシエテ・ジェネラルは、ユーロマネーから「ザ・ワールド・ベスト・バンク・フォー・ESG」の称号を獲得したほか、サステナリティクスからも、前回の同機関からの評価を上回る 15.4 の高い評価を受け、世界のベストバンク（上位 12％）に位置付けられた。

3. 当グループの財務構造

2025 年 6 月 30 日時点の当グループの**普通株式等 Tier1** 比率は 13.5％で、規制要件を約 330 ベーシスポイント上回った。同様に、2025 年 6 月末時点の流動性カバレッジ比率（LCR）は 148％（2025 年第 2 四半期の平均では 149％）と規制要件を大幅に上回った一方、2025 年 6 月末時点の安定調達比率（NSFR）は 117％であった。

すべての流動性比率および自己資本比率は規制要件を大幅に上回っている。

	2025 年 6 月 30 日	2024 年 12 月 31 日	規制要件
CET1[1]	**13.5%**	**13.3%**	**10.22%**
Tier 1 比率[1]	**15.8%**	**16.1%**	**12.14%**
総自己資本[1]	18.4%	18.9%	14.71%
レバレッジ比率[1]	**4.4%**	**4.3%**	**3.60%**
TLAC（RWA 比）[1]	**29.9%**	**29.7%**	**22.33%**
TLAC（レバレッジ比）[1]	8.3%	8.0%	6.75%
MREL（RWA 比）[1]	**33.4%**	**34.2%**	**27.44%**
MREL（レバレッジ比）[1]	9.2%	9.2%	6.13%
期末 LCR	**148%**	**162%**	**>100%**
期中平均 LCR	149%	150%	>100%
NSFR	**117%**	**117%**	**>100%**

（単位：十億ユーロ）	2025 年 6 月 30 日	2024 年 12 月 31 日
連結貸借対照表総額	**1,551**	**1,574**
株主資本（IFRS）、グループ持分	68	70
リスクアセット	**388**	**390**
うち信用リスク	314	327
調達貸借対照表総額	**923**	**952**
顧客貸出金	456	463
顧客預金	594	614

2025 年 6 月 30 日現在、2025 年資金調達プログラムに基づき、親会社は 2024 年末に調達したプレファイナンスの 45 億ユーロを含む総額 135 億ユーロの中長期債を発行している。子会社は 18 億ユーロを発行しており、当グループ全体では年初来、総額 153 億ユーロの中長期債を発行している。

2025 年 6 月 30 日現在、親会社の 2025 年資金調達プログラムは、バニラ債発行については約 80％が完了している。

当グループは 4 社の格付け機関から格付けを付与されている。各社からの格付けは、（ｉ）フィッチ・レーティングスからは発行体デフォルト格付け「A-」（安定的）、上位優先債格付け「A」および短期格付け「F1」、（ii）ムーディーズからは長期格付け（上位優先債）「A1」（安定的）および短期格付け「P-1」、（iii）R&I からは長期格付け（上位優先債）「A」（安定的）、（iv）S&P グローバル・レーティングからは長期格付け（上位優先債）「A」（安定的）および短期格付け「A-1」となっている。

[1] バーゼル 4 の段階的適用を含む。

4. フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門

（単位：百万ユーロ）	2025 年 第 2 四半期	2024 年 第 2 四半期	増減	2025 年 上半期	2024 年 上半期	増減
業務粗利益	2,269	2,131	+6.5%	4,568	4,146	+10.2%
うち純受取利息	*1,036*	*902*	*+14.8%*	*2,097*	*1,729*	*+21.3%*
うち手数料収入	*1,013*	*1,027*	*-1.4%*	*2,069*	*2,045*	*+1.1%*
営業費用	(1,477)	(1,649)	-10.4%	(3,043)	(3,377)	-9.9%
営業総利益	**791**	**482**	**+64.3%**	**1,525**	**770**	**+98.2%**
純リスク費用	(146)	(173)	-15.4%	(317)	(420)	-24.5%
営業利益	**645**	**309**	**x 2.1**	**1,208**	**350**	**x 3.5**
その他の資産からの純損益	20	8	x 2.6	27	8	x 3.3
グループ当期純利益	**488**	**240**	**x 2.0**	**909**	**271**	**x 3.4**
RONE	**11.2%**	**5.7%**		**10.4%**	**3.3%**	
経費率	**65.1%**	**77.4%**		**66.6%**	**81.4%**	

商業活動

SG ネットワーク、プライベートバンキング、保険

2025 年第 2 四半期の SG ネットワークの平均預金残高は 2,270 億ユーロと、2024 年第 2 四半期比 3%減、2025 年第 1 四半期比 1%減となった。

SG ネットワークの平均貸出残高は、2024 年第 2 四半期比 2%減の 1,940 億ユーロとなったが、政府保証融資（PGE）の返済を除くと横ばいであった。住宅ローンの新規契約は、2024 年第 2 四半期比 175%増の大幅な増加となった。

2025 年第 2 四半期の平均預貸率は 85.5%と、2024 年第 2 四半期比で 1 パーセントポイント低下した。

プライベートバンキング事業では、2025 年第 2 四半期の運用資産（AuM）[1]が 1,320 億ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 6%増加した。2025 年第 2 四半期の純資産のインフローは総額 23 億ユーロとなり、2025 年上半期の純資産拡大ペース（正味新規資金を AuM で除した年率換算値）は 6%増であった。当四半期の業務粗利益は 3 億 800 万ユーロとなり、上半期全体では 6 億 6,900 万ユーロであった。

フランス国内外の業務を含む**保険事業**は堅調な実績を上げた。2025 年第 2 四半期の生命保険事業の残高は、2024 年第 2 四半期比 5%増の 1,500 億ユーロに達した。ユニットリンク商品のシェアは 40%と高水準を維持した。2025 年第 2 四半期の貯蓄型生命保険のインフロー総額は 48 億ユーロであった。

ブルソバンク

ブルソバンクの顧客数は 2025 年第 2 四半期に 790 万に達し、2025 年 7 月には 800 万の大台に乗せた。2025 年第 2 四半期に、顧客数は 2024 年第 2 四半期比 22%増を記録し、前年同期比で 140 万の増加となった。新規顧客の獲得は当四半期も高水準を維持した一方（2025 年第 2 四半期の新規顧客は最大 42 万 4,000）、解約率は 4%未満と極めて低い。

ブルソバンクは、ユーロマネーからフランス国内のベスト・デジタルバンクの称号を獲得[2]する等、フランス国内の市場リーダーとしての地位を再び固めた。

---

[1] （スイスおよび英国における）資産売却の影響を除く。

[2] フランス・ベストデジタルバンク、アワード・フォー・エクセレンス、ユーロマネー、2025 年 7 月

預金および金融貯蓄を含む平均貯蓄残高は総額 698 億ユーロとなり、平均預金残高は 2024 年第 2 四半期比 16％増と大幅に伸びた。生命保険の平均残高は 2024 年第 2 四半期比で 7％増加し（うちユニットリンク商品のシェアは 48％）、インフロー総額は 2024 年第 2 四半期比で 12％増加した。売買仲介業務の取扱高は、受注件数が 2024 年第 2 四半期比 33％増と大幅な増加を記録した。

2025 年第 2 四半期の平均貸出残高は、2024 年第 2 四半期比 10％増の 167 億ユーロであった。

業務粗利益

2025 年第 2 四半期の収益は 22 億 6,900 万ユーロ（PEL／CEL 引当金の影響を含む。）と、2024 年第 2 四半期比 6.5％増、資産売却の影響を除くと 10.7％増であった。純受取利息は 2024 年第 2 四半期比で 14.8％増加し、2024 年第 2 四半期の資産売却と短期ヘッジの影響を除くと 2.4％の増加であった。手数料収入は 2024 年第 2 四半期比で 1.4％減少したが、資産売却の影響を除くと 1.4％の増加であった。

2025 年上半期の収益は 45 億 6,800 万ユーロ（PEL／CEL 引当金の影響を含む。）と、2024 年上半期比 10.2％増、資産売却の影響を除くと 13.6％増であった。純受取利息は 2024 年上半期比で 21.3％増加し、2024 年上半期の資産売却と短期ヘッジの影響を除くと 0.6％の増加であった。手数料収入は 2024 年上半期比で 1.1％増加したが、資産売却の影響を除くと 3.7％の増加であった。

営業費用

2025 年第 2 四半期の営業費用は 14 億 7,700 万ユーロと、2024 年第 2 四半期比 10.4％減、資産売却の影響を除くと 5.7％減であった。2025 年第 2 四半期の経費率は 65.1％と、2024 年第 2 四半期比で 12.3 パーセントポイント改善した。

2025 年上半期の営業費用は 30 億 4,300 万ユーロと、2024 年上半期比 9.9％減、資産売却の影響を除くと 6.2％減少した。経費率は 66.6％と、2024 年上半期比で 14.8 パーセントポイント改善した。

リスク費用

2025 年第 2 四半期のリスク費用は 1 億 4,600 万ユーロ、すなわち 25 ベーシスポイントとなり、2024 年第 2 四半期および 2025 年第 1 四半期（ともに 29 ベーシスポイント）を下回った。

2025 年上半期のリスク費用は総額 3 億 1,700 万ユーロ、すなわち 27 ベーシスポイントであった。

グループ当期純利益

2025 年第 2 四半期のグループ当期純利益は総額 4 億 8,800 万ユーロ、2025 年第 2 四半期の RONE は 11.2％であった。

2025 年上半期のグループ当期純利益は総額 9 億 900 万ユーロ、2025 年上半期の RONE は 10.4％であった。

5. グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門

（単位：百万ユーロ）	**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	増減		**2025 年 上半期**	2024 年 上半期	増減	
業務粗利益	2,647	2,628	+0.7%	+2.4%*	5,542	5,259	+5.4%	+5.5%*
営業費用	(1,630)	(1,647)	-1.0%	+0.2%*	(3,385)	(3,404)	-0.5%	-0.4%*
営業総利益	1,017	981	+3.6%	+6.1%*	2,157	1,856	+16.2%	+16.4%*
純リスク費用	(81)	(21)	x 3.8	x 3.8*	(136)	(1)	x 91.4	x 91.4*
営業利益	936	960	-2.5%	-0.1%*	2,021	1,854	+9.0%	+9.2%*
グループ報告当期純利益	750	776	-3.4%	-1.1%*	1,606	1,473	+9.0%	+9.2%*
RONE	16.8%	19.0%			17.7%	18.2%		
経費率	61.6%	62.7%			61.1%	64.7%		

業務粗利益

2025 年第 2 四半期の**グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門**は好調な業績を達成し、収益は 2024 年第 2 四半期をわずかに上回る 0.7％増の 26 億 4,700 万ユーロと高水準で推移した。

2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 5.4％増（52 億 5,900 万ユーロに対し 55 億 4,200 万ユーロ）であった。

2025 年第 2 四半期の**グローバルマーケッツ・インベスターサービス事業**の収益は 17 億 5,300 万ユーロに上り、2024 年第 2 四半期比ほぼ横ばい（0.4％増）となる高水準の収益を維持した。2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 5.2％増の 36 億 7,400 万ユーロに拡大した。

2025 年第 2 四半期の**市場業務**の収益は、微増（0.8％増）の 15 億 7,700 万ユーロであった。2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 5.9％増の 33 億 3,600 万ユーロに拡大した。

2025 年第 2 四半期の**エクイティ事業**は底堅く、高水準であった 2024 年第 2 四半期を 2.9％下回るにとどまった。2025 年第 2 四半期の収益は、デリバティブにおける上向きの商業的モメンタムの牽引があり、9 億 6,200 万ユーロとなった。2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 8.7％増の 20 億 2,300 万ユーロに拡大した。

2025 年第 2 四半期の**債券・為替事業**の収益は、フローおよび金融商品の好調な業績に牽引されて大幅に増加し、2024 年第 2 四半期比 7.3％増の 6 億 1,500 万ユーロとなった。2025 年第 2 四半期には、商業的モメンタムは、マクロ経済環境における不確実性の高まりがあっても、力強さを維持した。2025 年上半期の収益は 2024 年上半期比 1.9％増の 13 億 1,300 万ユーロに上った。

証券サービス事業の収益は、金利の低下を背景に、2024 年第 2 四半期比 3.1％減の 1 億 7,600 万ユーロとなった。資本参加の影響を除いた収益は 2.4％減であった。2025 年上半期の収益は 1.0％減となり、資本参加の影響を除くと 1.3％減であった。カストディ資産および管理資産はそれぞれ 5 兆 2,220 億ユーロおよび 6,380 億ユーロであった。

ファイナンス・アドバイザリー事業の収益は 2024 年第 2 四半期をわずかに 1.3％上回り、総額 8 億 9,500 万ユーロとなった。2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 5.7％増の 18 億 6,800 万ユーロに拡大した。

2025 年第 2 四半期の**グローバルバンキング・アドバイザリー事業**は、特に買収ファイナンス、ファンドファイナンス、プロジェクトファイナンスの好調に牽引され、2024 年第 2 四半期比 3.6％増の力強い収益を計上した。2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 7.1％増であった。

2025 年第 2 四半期の**グローバルトランザクション・ペイメントサービス事業**は良好な営業実績を達成し、特に法人顧客と機関顧客向けが好調であった。しかし、金利低下の影響を受け、2025 年第 2 四半期の収益は 4.7％減少した。2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 1.6％増となった。

営業費用

2025 年第 2 四半期の営業費用は、2024 年第 2 四半期比 1.0％減の **16 億 3,000 万ユーロとなった。**2025 年第 2 四半期の経費率は 61.6％であった。

2025 年上半期の営業費用は、2024 年上半期比 0.5％減となり、一方で経費率は、2024 年上半期の 64.7％に対し 61.1％となった。

リスク費用

2025 年第 2 四半期のリスク費用は、2024 年第 2 四半期の 5 ベーシスポイントに対し、8,100 万ユーロ、すなわち 19 ベーシスポイントであった。

2025 年上半期のリスク費用は、2024 年上半期の 0 ベーシスポイントに対し、1 億 3,600 万ユーロ、すなわち 16 ベーシスポイントであった。

グループ当期純利益

グループ当期純利益は、2024 年第 2 四半期比 3.4％減の **7 億 5,000 万ユーロ**となった。2025 年上半期のグループ当期純利益は、9.0％増の 16 億 600 万ユーロであった。

グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門は、**2025 年第 2 四半期は 16.8％、2025 年上半期は 17.7％の RONE** をそれぞれ計上した。

6. モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門

（単位：百万ユーロ）	**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	増減		**2025 年 上半期**	2024 年 上半期	増減	
業務粗利益	2,036	2,157	-5.6%	+7.2%*	4,036	4,318	-6.5%	+4.1%*
営業費用	(1,059)	(1,261)	-16.0%	-4.2%*	(2,240)	(2,611)	-14.2%	-4.5%*
営業総利益	**977**	**896**	**+8.9%**	**+22.9%***	**1,796**	**1,707**	**+5.3%**	**+17.4%***
純リスク費用	(126)	(189)	-33.1%	-18.4%*	(250)	(370)	-32.4%	-21.2%*
営業利益	**850**	**708**	**+20.1%**	**+32.9%***	**1,546**	**1,336**	**+15.7%**	**+27.5%***
その他の資産からの純損益	0	(0)	n/s	n/s	0	4	-92.7%	-92.7%*
非支配持分損益	246	211	+16.5%	+23.5%*	458	406	+12.6%	+20.6%*
グループ当期純利益	**404**	**321**	**+25.7%**	**+41.3%***	**722**	**599**	**+20.5%**	**+33.7%***
RONE	**15.3%**	**11.4%**			**13.2%**	**10.7%**		
経費率	**52.0%**	**58.4%**			**55.5%**	**60.5%**		

商業活動

国際リテールバンキング事業

2025 年第 2 四半期の**国際リテールバンキング事業**は、主に貸出残高が 2024 年第 2 四半期比 4.3％増*の 610 億ユーロになったことに牽引され、力強い商業的モメンタムを示した。預金残高は 2024 年第 2 四半期から横ばい*の 750 億ユーロであった。

欧州では、2025 年第 2 四半期の貸出残高が引き続き大幅に伸び、2024 年第 2 四半期比 7.0％増*の 460 億ユーロとなった。2025 年第 2 四半期の預金残高は横ばい*の 560 億ユーロであった。

アフリカ、地中海沿岸地域およびフランス海外領域では、貸出残高は 150 億ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 3.1％減少*した。2025 年第 2 四半期の預金残高は、主に個人顧客および法人顧客の要求払い預金に牽引され、2024 年第 2 四半期比 1.9％増*の 190 億ユーロとなった。

モビリティ・金融サービス事業

全体として**モビリティ・金融サービス事業**は広く安定的な営業実績を計上した。

Ayvens の収益資産は 2025 年 6 月末現在約 530 億ユーロと、2024 年 6 月末から概ね横ばいであった。

消費者金融事業は、貸出残高が 230 億ユーロとなり、2024 年第 2 四半期比 2.8％減と引き続き減少した。

業務粗利益

2025 年第 2 四半期の**モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門**は、2024 年第 2 四半期比 7.2％増*の 20 億 3,600 万ユーロと、好調な業績を上げた。

2025 年上半期の収益は、2024 年上半期比 4.1％増*の 40 億 3,600 万ユーロであった。

国際リテールバンキング事業の 2025 年第 2 四半期の収益は、2024 年第 2 四半期比 2.7％増*の 9 億 2,000 万ユーロとなった。2025 年上半期では、2024 年上半期比 2.3％増*の 18 億 3,300 万ユーロとなった。

欧州の収益は 2025 年第 2 四半期に 5 億 2,800 万ユーロと、2024 年第 2 四半期比 6.1％増*の高い伸びを示した。この伸びは、両国における高水準の純受取利息によるものであった（2024 年第 2 四半期比 7.3％増*）。

全体として**アフリカ、地中海沿岸地域およびフランス海外領域**の収益は 2025 年第 2 四半期に 3 億 9,200 万ユーロと、2024 年第 2 四半期の高い水準と比較しても 1.5％の小幅減少*にとどまった。純受取利息は、2024 年第 2 四半期比で 2.8％増加*した。

モビリティ・金融サービス事業は 2025 年第 2 四半期に両事業において高い収益の伸びを記録し、全体として 2024 年第 2 四半期比 11.1％増*の 11 億 1,600 万ユーロとなった。2025 年上半期では、2024 年上半期比 5.7％増*の 22 億 300 万ユーロであった。

Ayvens の 2025 年第 2 四半期の収益は、2024 年第 2 四半期比 10.6％増の 8 億 6,800 万ユーロと大幅に改善したが、これは予想どおり、減価償却費調整および非経常項目の影響が軽減されたためである [1]（これら 2 項目の調整後収益は 2024 年第 2 四半期比 3％減）。2025 年第 2 四半期のマージンは、非経常項目を除くと 2024 年第 2 四半期の 539 ベーシスポイントから 550 ベーシスポイントに増加した。減価償却費は 2024 年第 2 四半期比で減少し、中古車販売市場の 1 台当たりの平均中古車販売実績は極めて穏やかに正常化し続けた（2024 年第 2 四半期の 1,480 ユーロ [2]に対して 2025 年第 2 四半期は 1,234 ユーロ [2]）。企業レベルでは、2025 年第 2 四半期の Ayvens の経費率は 57.6％[3]で、2025 年の目標（57～59％）の範囲内に収まっている。

消費者金融事業の収益は 2025 年第 2 四半期に 2 億 4,700 万ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 12.6％増加した。この高い伸びは、新規契約におけるマージンの改善および資産再評価のプラス効果の双方を反映したものである。

営業費用

2025 第 2 四半期の営業費用は 10 億 5,900 万ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 4.2％減少*した（改革費用の 2,900 万ユーロを含む。）。2025 年第 2 四半期の経費率は、2024 年第 2 四半期の 58.4％に対して 52.0％と改善した。2025 年上半期の営業費用は 22 億 4,000 万ユーロと 2024 年上半期比で 4.5％減少*したほか、経費率は 2024 年上半期の 60.5％に対して 55.5％であった。

国際リテールバンキング事業の営業費用は、各地の根強いインフレ環境の中でも 2024 年第 2 四半期比 5.2％減*の 4 億 8,200 万ユーロとなった。

モビリティ・金融サービス事業の営業費用は 2025 年第 2 四半期に 5 億 7,700 万ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 3.3％減少*した。Ayvens は、リースプランの統合に関わる初期のコストシナジーが寄与した。

リスク費用

2025 年第 2 四半期のリスク費用は 1 億 2,600 万ユーロ、すなわち 35 ベーシスポイントとなり、2024 年第 2 四半期（45 ベーシスポイント）を大幅に下回った。

2025 年上半期のリスク費用は、2024 年上半期の 44 ベーシスポイントに対して 33 ベーシスポイントとなった。

---

[1] 主にトルコのハイパーインフレ

[2] 減価償却費調整の影響を除く。

[3] Ayvens の 2025 年第 2 四半期決算の報告書に開示されるとおり、中古車販売からの収益および非経常項目を除く。

グループ当期純利益

2025 年第 2 四半期のグループ当期純利益は 4 億 400 万ユーロと、2024 年第 2 四半期比で 41.3％増加*した。2025 年第 2 四半期の RONE は、2024 年第 2 四半期の 11.4％から 15.3％に改善した。2025 年第 2 四半期の RONE は、国際リテールバンキング事業で 18.4％、モビリティ・金融サービス事業では 13.1％であった。

2025 年上半期のグループ当期純利益は 7 億 2,200 万ユーロと、2024 年上半期比で 33.7％増加*した。2025 年上半期の RONE は 2024 年上半期の 10.7％から 13.2％に改善した。2025 年上半期の RONE は、国際リテールバンキング事業で 16.3％、モビリティ・金融サービス事業では 11.1％であった。

7. コーポレートセンター

（単位：百万ユーロ）	**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	増減		**2025 年 上半期**	2024 年 上半期	増減	
業務粗利益	(160)	(231)	+30.8%	+30.8%*	(273)	(394)	+30.8%	+30.8%*
営業費用	(164)	(13)	x 12.3	x 4.3*	(267)	(158)	+68.3%	+45.3%*
営業総利益	**(324)**	**(245)**	**-32.5%**	**-20.2%***	**(539)**	**(552)**	**+2.4%**	**+6.6%***
純リスク費用	(2)	(4)	-55.7%	-55.7%*	4	5	+16.7%	+16.7%*
その他の資産からの純損益	57	(15)	n/s	n/s	250	(99)	n/s	n/s
法人所得税	83	67	-23.0%	-12.2%*	143	157	+8.7%	+12.3%*
グループ当期純利益	**(188)**	**(225)**	**+16.1%**	**+22.5%***	**(176)**	**(551)**	**+68.0%**	**+69.1%***

コーポレートセンターには以下の項目が含まれる。

- 当グループ本社の不動産管理
- 当グループの株式ポートフォリオ
- 当グループの財務担当部署
- 部門横断的なプロジェクトに関連する特定の費用および事業部門に紐づけられない当グループの諸費用

業務粗利益

2025 年第 2 四半期の**コーポレートセンターの業務粗利益は**、2024 年第 2 四半期のマイナス 2 億 3,100 万ユーロに対し、総額マイナス 1 億 6,000 万ユーロとなった。

2025 年上半期の**コーポレートセンターの業務粗利益は**、2024 年上半期のマイナス 3 億 9,400 万ユーロに対し、**総額マイナス 2 億 7,300 万ユーロとなった。**

営業費用

2025 年第 2 四半期の**営業費用は**、2024 年第 2 四半期の 1,300 万ユーロに対し、**総額 1 億 6,400 万ユーロとなった。**この中には 2025 年 6 月に開始した従業員持株制度に係る費用の約 1 億ユーロが含まれている。

2025 年上半期の**営業費用は**、2024 年上半期の 1 億 5,800 万ユーロに対し、**総額 2 億 6,700 万ユーロであった。**

その他の資産からの純利益

2025 年第 2 四半期に**コーポレートセンターは、その他の資産からの純利益 5,700 万ユーロを計上した。**これは主に 2025 年 6 月に完了したソシエテ・ジェネラル・ブルキナファソの売却に関連するものである。

グループ当期純利益

2025 年第 2 四半期の**コーポレートセンターのグループ当期純利益は**、2024 年第 2 四半期のマイナス 2 億 2,500 万ユーロに対し、**総額マイナス 1 億 8,800 万ユーロとなった。**

2025 年上半期の**コーポレートセンターのグループ当期純利益は**、2024 年上半期のマイナス 5 億 5,100 万ユーロに対し、**総額マイナス 1 億 7,600 万ユーロであった。**

8. 2025 年財務情報開示日程

2025 年および 2026 年の財務情報開示日程

2025 年 10 月 7 日	配当権利落ち日
2025 年 10 月 9 日	中間配当支払日
2025 年 10 月 30 日	2025 年第 3 四半期決算および 2025 年 1～9 月期決算
2026 年 2 月 6 日	2025 年第 4 四半期決算および 2025 年通期決算
2026 年 4 月 30 日	2026 年第 1 四半期決算

代替的業績指標、特に中核事業部門の業務粗利益、営業費用、ベーシスポイント表示のリスク費用、ROE、ROTE、RONE、純資産および有形純資産の概念は、健全性比率を公表する際の原則とともに財務情報の基準となる事項に記載されています。

本書にはソシエテ・ジェネラル・グループの目標および戦略に関連する将来の見通しに関する記述が含まれています。
これらの将来の見通しに関する記述は、一般事項および特別事項の両方、特に欧州連合により採択された IFRS（国際財務報告基準）に準拠した会計原則および方法の適用、ならびに既存の健全性規制の適用を含む一連の前提に基づいています。

また、これらの将来の見通しに関する記述は、所与の競争および規制環境下における複数の経済前提に基づくシナリオに則して作成されました。当グループは以下を行うことができない場合があります。

- 当グループの事業に影響をもたらす可能性のあるすべてのリスク、不確実性またはその他の要因を予測すること、およびそれらの潜在的な影響を評価すること。
- リスクまたは複合リスクの発生により、実際の業績が本書および関連資料に記載されている業績の見通しからどの程度大きく乖離するかを判断すること。

したがって、ソシエテ・ジェネラルはこれらの記述は合理的な仮定に基づいていると考えているものの、かかる将来の見通しに関する記述は、当行もしくは当行の経営陣が認知していない事項または現状で重大とみなされていない事項を含む、数々のリスクおよび不確実性に左右され、予想していた事象が発生する保証、または設定していた目標が実際に達成される保証はありません。実際の業績を、将来の見通しに関する記述で予想されている業績とは大きく異なるものにしうる重要な要因には、とりわけ、一般的経済活動の全体的な傾向、およびより具体的にはソシエテ・ジェネラルの市場における全体的な傾向、規制や健全性に関する変更、ならびにソシエテ・ジェネラルの戦略、経営および財政に関するイニシアチブの成功が含まれます。

ソシエテ・ジェネラルの財務業績に影響を及ぼす可能性のある潜在的リスクについてのより詳細な情報は、フランス金融市場庁（*Autorité des Marchés Financiers*）に提出された「Universal Registration Document（年次報告書）」（https://investors.societegenerale.com/en にて閲覧可能）の「Risk Factors」のセクションをご覧ください。

投資家の皆さまにおかれましては、かかる将来の見通しに関する記述に含まれる情報をご参考にされる際には、当グループの事業活動に影響をもたらす可能性のある不確実性要因およびリスク要因を考慮されるようお勧めします。適用ある法律で義務付けられている場合を除き、ソシエテ・ジェネラルは、将来の見通しに関する情報または記述の内容を更新または改正するいかなる義務も負いません。特に明記しない限り、事業ランキングおよび市場ポジションは内部資料によるものです。

9. 付属書類 1：財務情報

主力事業部門のグループ当期純利益

（単位：百万ユーロ）	**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	増減	**2025 年 上半期**	2024 年 上半期	増減
フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門	488	240	x 2.0	909	271	x 3.4
グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門	750	776	-3.4%	1,606	1,473	+9.0%
モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門	404	321	+25.7%	722	599	+20.5%
主力事業部門	**1,642**	**1,322**	**+24.2%**	**3,238**	**2,313**	**+40.0%**
コーポレートセンター	(188)	(225)	+16.1%	(176)	(551)	+68.0%
当グループ	**1,453**	**1,113**	**+30.6%**	**3,061**	**1,793**	**+70.8%**

主な特別項目

（単位：百万ユーロ）	**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	**2025 年 上半期**	2024 年 上半期
営業費用－一時費用および改革費用合計	**(131)**	**(127)**	**(205)**	**(479)**
改革費用	**(30)**	**(124)**	**(104)**	**(476)**
うちフランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門	(10)	(45)	(33)	(127)
うちグローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門	9	(29)	(3)	(183)
うちモビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門	(29)	(50)	(68)	(119)
うちコーポレートセンター	0	0	0	(47)
一時費用	**(101)**	**(3)**	**(101)**	**(3)**
従業員持株制度	(101)	(3)	(101)	(3)
その他一時費用－合計	**75**	**(8)**	**277**	**(88)**
その他の資産からの純損益	75	(8)	277	(88)

連結貸借対照表

（単位：百万ユーロ）	2025 年 6 月 30 日	2024 年 12 月 31 日
現金および中央銀行預け金	148,782	201,680
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	566,690	526,048
ヘッジ目的デリバティブ	7,769	9,233
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	103,297	96,024
償却原価で測定する有価証券	49,240	32,655
償却原価で測定する銀行預け金	81,711	84,051
償却原価で測定する顧客貸出金	446,154	454,622
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	(330)	(292)
保険契約資産および再保険契約資産	494	615
税金資産	4,198	4,687
その他の資産	73,477	70,903
売却目的保有非流動資産	4,018	26,426
持分法適用投資	442	398
有形および無形固定資産	60,465	61,409
のれん	5,084	5,086
合計	**1,551,491**	**1,573,545**

（単位：百万ユーロ）	2025 年 6 月 30 日	2024 年 12 月 31 日
中央銀行預り金	10,957	11,364
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	406,704	396,614
ヘッジ目的デリバティブ	13,628	15,750
発行債券	156,922	162,200
銀行預り金	100,588	99,744
顧客預金	518,397	531,675
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	(6,129)	(5,277)
税金負債	2,261	2,237
その他の負債	94,155	90,786
売却目的保有非流動負債	3,526	17,079
保険契約負債および再保険契約負債	156,370	150,691
引当金	3,916	4,085
劣後債務	12,735	17,009
負債合計	**1,474,030**	**1,493,957**
株主資本	**-**	-
株主資本、グループ持分	**-**	-
発行済普通株式および資本準備金	20,657	21,281
その他の資本性金融商品	8,762	9,873
利益剰余金	36,741	33,863
純利益	3,061	4,200
小計	**69,221**	**69,217**
未実現・繰延キャピタルゲインおよびキャピタルロス	(928)	1,039
資本、グループ持分小計	**68,293**	**70,256**
非支配持分損益	9,168	9,332
株主資本合計	**77,461**	**79,588**
合計	**1,551,491**	**1,573,545**

10. 付属書類 2：財務情報の基準となる事項

1 - 2025 年第 2 四半期および 2025 年上半期に関する財務情報は、2025 年 7 月 30 日開催の取締役会において精査されており、当該日付において適用され、欧州連合が採択している国際財務報告基準（IFRS）に準拠した方法により作成されている。2025 年 6 月 30 日付の要約中間財務諸表については、法定監査人による限定的なレビュー手続が現在行われている。

2 - 業務粗利益

中核事業部門の業務粗利益は、ソシエテ・ジェネラルの 2025 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 38 ページに定義されている。「収益」および「業務粗利益」は同義語として使用されている。これらは、各事業に対する標準的資本配分を考慮した上での、各中核事業部門の業務粗利益の正規化した数値を提供している。

3 - 営業費用

営業費用は、2024 年 12 月 31 日付の当グループの連結財務諸表の注 5 に記載されている「営業費用」を指す。また、営業費用について言及する際、「費用」という用語も使われている。経費率はソシエテ・ジェネラルの 2025 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 38 ページに定義されている。

4 - ベーシスポイント表示のリスク費用、回収懸念残高のカバレッジ比率

リスク費用は、ソシエテ・ジェネラルの 2025 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 39 ページおよび 748 ページに定義されている。当該指標により、各中核事業部門のリスク水準を、貸借対照表上のローンコミットメント（オペレーティングリースを含む。）のパーセンテージとして評価することが可能となる。

（単位：百万ユーロ）		**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	**2025 年 上半期**	2024 年 上半期
フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門	純リスク費用	146	173	317	420
	貸出残高総額	230,025	236,044	231,781	237,219
	ベーシスポイント表示のリスク費用	**25**	**29**	**27**	**35**
グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門	純リスク費用	81	21	136	1
	貸出残高総額	171,860	164,829	172,321	163,643
	ベーシスポイント表示のリスク費用	**19**	**5**	**16**	**0**
モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門	純リスク費用	126	189	250	370
	貸出残高総額	144,329	166,967	151,727	167,429
	ベーシスポイント表示のリスク費用	**35**	**45**	**33**	**44**
コーポレートセンター	純リスク費用	2	4	(4)	(5)
	貸出残高総額	26,404	24,583	25,998	23,974
	ベーシスポイント表示のリスク費用	**3**	**6**	**(3)**	**(5)**
ソシエテ・ジェネラル・グループ	純リスク費用	355	387	699	787
	貸出残高総額	572,618	592,422	581,827	592,265
	ベーシスポイント表示のリスク費用	**25**	**26**	**24**	**27**

回収懸念残高総額のカバレッジ比率は、規則上、デフォルトに陥っていると特定された残高総額に対する信用リスクに関して認識されている引当金の比率として算出されており、提供された保証は考慮されていない。当該カバレッジ比率により、デフォルトに陥っている（「回収が懸念される」）残高と関連している最大残存リスクを測定することができる。

5 - ROE、 ROTE、 RONE

ROE（自己資本利益率）および ROTE（有形自己資本利益率）の概念ならびにこれらの算出方法は、ソシエテ・ジェネラルの 2025 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 39 ページおよび 40 ページに記載されている。当該数値により、ソシエテ・ジェネラルの自己資本利益率および有形自己資本利益率を評価することが可能となる。

RONE（基準自己資本利益率）は、ソシエテ・ジェネラルの 2025 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 40 ページに記載されている原則に基づき、当グループの事業部門に配分される平均基準資本の利益率を特定する。2025 年第 1 四半期決算以降、過去のデータを修正再表示したことにより、各事業の利益率の目標は 13％の資本配分に基づいている。2025 年第 1 四半期における配分資本には、2025 年 1 月 1 日から適用されるバーゼル 4 に関連した規制の影響が含まれる。

比率の分子として使用されるグループ当期純利益は、「超劣後債および永久劣後債の保有者への支払利息および未払利息、発行時額面超過額償却額」の調整後の会計上のグループ当期純利益である。ROTE に関しては、利益はのれんの減損を修正再表示している。

当期における ROE および ROTE を算出するために行った会計上の資本に対する修正は、下表に詳述されている。

ROTE の算出：算出方法

期末（単位：百万ユーロ）	**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	**2025 年 上半期**	2024 年 上半期
株主資本、グループ持分	**68,293**	**66,829**	**68,293**	**66,829**
超劣後債および永久劣後債	(8,386)	(9,747)	(8,386)	(9,747)
超劣後債および永久劣後債の保有者への未払利息、発行時額面超過額償却額[1]	23	(19)	23	(19)
転換準備金を除くその他の包括利益	512	705	512	705
配当準備金[2]	(2,375)	(718)	(2,375)	(718)
期末 ROE 資本	**58,067**	**57,050**	**58,067**	**57,050**
平均 ROE 資本	**58,579**	**56,797**	**58,743**	**56,660**
のれん平均[3]	(4,174)	(4,073)	(4,182)	(4,040)
平均無形資産	(2,787)	(2,937)	(2,811)	(2,947)
平均 ROTE 資本	**51,618**	**49,787**	**51,749**	**49,673**
グループ当期純利益	**1,453**	**1,113**	**3,061**	**1,793**
超劣後債および永久劣後債の保有者への支払利息および未払利息、発行時額面超過額償却額	(200)	(190)	(387)	(356)
調整後グループ当期純利益	**1,253**	**923**	**2,674**	**1,437**
ROTE	**9.7%**	**7.4%**	**10.3%**	**5.8%**

[1] 税引後利息

[2] 配当準備金は、非現金項目を修正再表示し、超劣後債および永久劣後債の利息を控除した後の配当性向 50％に基づいて算出され、2025 年第 1 四半期および 2025 年上半期における 10 億ユーロの追加的な自社株買いを含む。

[3] 非支配持分に起因するのれんを除く。

RONE の算出：主力事業部門への平均配分資本（単位：百万ユーロ）

（単位：百万ユーロ）	**2025 年 第 2 四半期**	2024 年 第 2 四半期	増減	**2025 年 上半期**	2024 年 上半期	増減
フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門	17,412	16,690	+4.3%	17,549	16,605	+5.7%
グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門	17,894	16,313	+9.7%	18,109	16,162	+12.0%
モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門	10,535	11,247	-6.3%	10,955	11,250	-2.6%
主力事業部門	**45,841**	**41,180**	**+11.3%**	**46,613**	**40,955**	**+13.8%**
コーポレートセンター	12,738	12,544	+1.5%	12,130	12,644	-4.1%
当グループ	**58,579**	**56,797**	+3.1%	**58,743**	**56,660**	+3.7%

6 - 純資産および有形純資産

純資産および有形純資産は、当グループの 2025 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 41 ページの財務情報の基準となる事項の記載において定義されている。これらを算出するために使用した項目は以下のとおりである。

期末（単位：百万ユーロ）	**2025 年 上半期**	2025 年 第 1 四半期	2024 年
株主資本、グループ持分	**68,293**	**70,556**	**70,256**
超劣後債および永久劣後債	(8,386)	(10,153)	(10,526)
超劣後債および永久劣後債の利息、発行時額面超過額償却額[1]	23	(60)	(25)
トレーディング ポートフォリオ上で当グループが保有する当行株式の帳簿価額	(46)	(44)	8
純資産額	**59,884**	**60,299**	**59,713**
のれん[2]	(4,173)	(4,175)	(4,207)
無形資産	(2,776)	(2,798)	(2,871)
有形純資産額	**52,935**	**53,326**	**52,635**
NAPS（1 株当たり純資産額）の算出に用いられる株数（単位：千株）[3]	**776,296**	**783,671**	**796,498**
1 株当たり純資産額（単位：ユーロ）	**77.1**	**76.9**	**75.0**
1 株当たり有形純資産額（単位：ユーロ）	**68.2**	**68.0**	**66.1**

7 - 1 株当たり利益（EPS）の算出

ソシエテ・ジェネラルが発表する 1 株当たり利益は、国際会計基準（IAS）第 33 号に定義されている規定に従って算出されている（ソシエテ・ジェネラルの 2025 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 40～41 ページを参照のこと。）。1 株当たり利益を算出する際に行ったグループ当期純利益の修正は、ROE および ROTE を算出する際に行った修正再表示に対応するためである。

1 株当たり利益の算出については、下表に詳述されている。

平均株数（単位：千株）	**2025 年 上半期**	2025 年 第 1 四半期	2024 年
発行済株式	**800,317**	**800,317**	**801,915**
控除			
従業員に与えられたストックオプションおよび無償株式を補填するために配分された株式	2,175	2,586	4,402
その他の当行株式および自己株式	12,653	7,646	2,344
EPS 算出に用いられた株数[4]	**785,488**	**790,085**	**795,169**
グループ当期純利益（単位：百万ユーロ）	**3,061**	**1,608**	**4,200**
超劣後債および永久劣後債に係る利息（単位：百万ユーロ）	(387)	(188)	(720)
調整後グループ当期純利益（単位：百万ユーロ）	**2,674**	**1,420**	**3,481**
EPS（単位：ユーロ）	**3.40**	**1.80**	**4.38**

[1] 税引後利息

[2] 非支配持分に起因するのれんを除く。

[3] 考慮された株数は期末時点で発行済みの普通株式（ただし、自己株式および自社株買いを行った株式を除くが、トレーディング目的で当グループが保有する株式を含む。）の数である。（単位：千株）

[4] 考慮された株数は期間中に発行済みの普通株式（ただし、自己株式および自社株買いを行った株式を除くが、トレーディング目的で当グループが保有する株式を含む。）の平均数である。（単位：千株）

8 - 自己資本比率およびレバレッジ比率

株主資本、リスクアセットおよびレバレッジエクスポージャーは、段階的適用および全面適用の比率を算出するための規制で定められる手続を含む、バーゼル 3 の最終版を法制化した、適用ある CRR3／CRD6 規制（バーゼル 4）に従い算出されている。自己資本比率およびレバレッジ比率は、特に明記しない限り、当事業年度における配当控除後の未実現利益に対する試算ベースで表示されている。

9 - 調達貸借対照表、預貸率

調達貸借対照表は、当グループの財務諸表に基づき、以下の 2 つのステップで作成する。

- 第 1 ステップ：貸借対照表の経済分析をしやすくするため、財務諸表項目をより大きな項目に組み替える。主な組替えの内容は以下のとおりである。
  保険：保険に関連する会計項目を資産と負債の両方で 1 つにグループ化する。
  顧客貸出金：顧客に対する貸出金残高（引当金および評価損控除後、純リース債権残高および損益を通じて公正価値で測定される取引を含む。）を含み、IFRS 第 9 号が規定する条件に従い貸出金および債権に組み替えた金融資産（これらの残高は各々の元の項目に組み替えられている。）を除く。
  ホールセール資金調達：銀行間取引負債および発行債券を含む。資金調達取引は、残存期間（1 年を超えるか 1 年未満であるか）に基づいて中長期資金調達および短期資金調達に振り分けられている。
  フランス国内リテールバンキングのネットワークが発行した証券の持分（中長期資金調達に計上）、およびカウンターパーティと実施した一定の取引のうち顧客預金と同等のもの（従来は短期資金調達に計上）は顧客預金に組み替えられる。
  市場調達に相当する一部の取引は、顧客預金から控除され、短期資金調達に組み入れられる。
- 第 2 ステップ：保険子会社の貢献分を除外し、デリバティブ、現先取引、有価証券貸借、未払金および「中央銀行預り金」を差し引く。

当グループの**預貸率**は、調達貸借対照表に記載されている顧客貸出金を顧客預金で除して算出している。

注

(1) 表および分析に含まれる数値の合計は、四捨五入の誤差により、公表されている数値とわずかに異なる場合がある。

(2) 当四半期決算に関するすべての情報（特に、プレスリリース、ダウンロード可能なデータ、プレゼンテーションスライドおよび補足資料）は、ソシエテ・ジェネラルのホームページ（www.societegenerale.com）の「Investor」のセクションにおいて閲覧可能である。

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルは、欧州最大手の金融機関の一つで、約 11 万 9,000 人の従業員を擁し、世界 62 ヶ国で 2,600 万超のお客さまに金融サービスを提供しています。160 年にわたり、法人、機関投資家および個人のお客さまに付加価値の高い多様なアドバイザリー・サービスと金融ソリューションを提供し、経済の発展を支えてきました。お客さまとの長きにわたる信頼関係、先進的な専門性、独創的なイノベーション、環境・社会・ガバナンス（ESG）における能力および優れた事業基盤はこれまで受け継がれてきたソシエテ・ジェネラルの企業文化の一部であり、こうした特性がすべてのステークホルダーにとって持続可能な価値を創造するという、当グループの最も重視する目標達成の下支えとなっています。

当グループは、相互に補完し合う 3 つの主力事業部門から構成されており、すべてのお客さまに環境・社会・ガバナンス（ESG）サービスを提供しています。

- **フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門：**大手リテールバンクである SG および保険事業、プレミアムなプライベートバンキング・サービスならびに大手デジタルバンクであるブルソバンクで構成されています。
- **グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門：**株式デリバティブ、ストラクチャードファイナンスおよび環境・社会・ガバナンス（ESG）においてグローバル市場における主導的地位にあり、お客さまのニーズに応じたソリューションを提供する最高水準のホールセールバンクです。
- **モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門：**安定した基盤をもつユニバーサルバンク（チェコ共和国、ルーマニア、アフリカ域内数ヶ国）および専門的な財務活動と持続可能なモビリティのグローバルプレイヤーである Ayvens（ALD－リースプランの新ブランド）で構成されています。

ソシエテ・ジェネラルは、お客さまとともに持続可能なより良い未来を構築することを使命とし、環境変動とサステナビリティ全般における主導的パートナーになることを目指しています。当グループは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、ブルームバーグ男女平等指数、リフィニティブ・ダイバーシティ＆インクルージョン・インデックス、Euronext Vigeo（欧州およびユーロ圏）、ストックス・グローバル・ESG・リーダーズ・インデックスおよび MSCI 低炭素リーダーズ指数（世界および欧州）の構成銘柄です。

本プレスリリースの信憑性に関して疑義のある場合は、ウェブサイト societegenerale.com の Group News ページの下部をご覧ください。ソシエテ・ジェネラルの公式プレスリリースをブロックチェーン技術を用いて認証することが可能です。リンクからウェブサイトのページ上で直接、文書の正当性を確認できます。

詳しくは当グループのウェブサイト www.societegenerale.com をご覧ください。